

RS ウイルス感染症の定期接種(母子免疫ワクチン)について【注意事項】

1. ワクチンを受ける前に

【一般的注意事項】

- ① RS ウイルス感染症の予防接種について、説明書をよく読み、必要性や副反応についてよく理解しましょう。気になることやわからないことがあれば、接種を受ける前に医師に質問しましょう。
- ② 母子健康手帳を必ず持って行きましょう。
- ③ 予診票は、接種する医師にとって大切な情報です。責任をもって記入しましょう。
- ④ ワクチンの接種後、副反応があらわれる可能性があります。ワクチン接種直後から数時間後、また数日が経過してからあらわれる場合もあります。
- ⑤ 副反応として、接種部位の腫れ・紅斑・痛み、倦怠感、軽度の発熱や低血圧、吐き気、失神(血管迷走神経反応)などがみられる場合があります。
- ⑥ まれですが、ショック、アナフィラキシー様反応(接種後 30 分以内にあらわれる呼吸困難や全身性のじんましんなどを伴う重いアレルギー反応のこと)やけいれんなどの副作用があらわれることがあります。

2. ワクチン接種の際の注意点

【次の方は接種を受けないでください】

- ① 明らかに発熱(通常 37.5℃以上)している人
- ② 重篤な急性疾患にかかっていることが明らかな人
- ③ 接種するワクチンに含まれる成分でアナフィラキシーショックを起こしたことがある人
- ④ その他、医師が予防接種を受けることに不適当な状態にあると判断した人

【次の方は接種前にかかりつけ医によく相談してください】

- ① 心臓病、腎臓病、肝臓病、血液やその他の慢性の病気で治療を受けている人
- ② 過去の予防接種で、接種後 2 日以内に発熱、発疹、じんましん等アレルギーを疑う以上が出たことがある人
- ③ 過去にけいれん(ひきつけ)を起こしたことがある人
- ④ 過去に免疫不全と診断されたことがある、または近親者に先天性免疫不全症者がいる人
- ⑤ 接種するワクチンに含まれる成分でアレルギーを起こすおそれのある人
- ⑥ 血小板減少症や凝固障害(出血時に血が止まりにくい)のある人、抗凝固療法(血液をサラサラにする薬の投与)を受けている人
- ⑦ 授乳をしている人
- ⑧ 妊娠高血圧症候群の発症リスクが高いと医師に判断された人や今までに妊娠高血圧症候群と診断された人

【接種後の注意事項】

- ① 接種後 30 分は、注意深い観察が必要です。病院内でイスに座るなどして様子をみます。
- ② 接種した当日は、安静に過ごしてください。
- ③ 接種した部位を清潔に保ってください。接種した日に入浴しても問題ありませんが、体を洗うときに接種部位をこすらないようにしてください。
- ④ 接種部位の異常や体調の変化、高熱、けいれんなどの異常な症状がみられる場合には、すみやかに医師の診察を受けてください。

お問合せ 新居浜市保健センター 新居浜市庄内町 4-7-17 TEL:0897-35-1070